

1. 平成30年度活動の方向性

- 福島県の食・観光・伝統工芸等の地場産業における担い手確保に向けたPRについて、昨年度の意見交換会から課題として挙がっている。
- 担い手確保に向けたPRへの課題として、上記産業に就職・起業することでの仕事や生計を立てるイメージができないことから、具体的なアクションにつながらないということが意見交換会（第1回）で議論がなされた。
- 上記の課題解決の場として、メンバーによる「新しい東北」官民連携推進協議会の週次の交流の場（Fw:東北 Weekly）への関与等を行い、県内の若者や移住希望者に対して、上記産業でビジネスモデルおよびライフスタイルを確立している先駆者との交流の場を創出する。
- また、先駆者を事例として調査・分析を行い、報告書等でその成功・失敗点を考察・まとめることで、県内における若者や移住者の上記産業におけるチャレンジへのビジョン確立を目指す。

2. 今年度のスケジュール

● 第1回（5／30（水））	● 第2回（8／28（火））	● 協議会イベント（仮称）in 福島（10～12月）	● 第3回（1～3月）
・意見交換会の趣旨等説明	・今年度の方向性 ・「新しい東北」官民連携推進協議会 福島ブロックにおける連携型交流会の取組内容等について意見交換を実施		・協議会イベント（仮称）の実施状況 ・来年度意見交換会等について意見交換を実施

3. 今後に向けた活動イメージの共有

- 事務局の協力のもと、協議会イベントの実施を通じて、今後の連携の深化に向けた検討を行う。

4. 協議会イベント（仮称）企画（案）

- 福島県の若者や移住希望者に対して、県内で食・観光・伝統工芸の地場産業でビジネスモデルおよびライフスタイルを確立している先駆者との交流を通して、県内の地場産業でのチャレンジや暮らしのイメージを深め、同産業の担い手確保に向けたPRを行う。

概要

- 時期：10～12月
- 会場：福島市（コラッセふくしまを想定）
- 参加者人数：50～100名程度
- プログラム内容
 - ・福島県内で食・観光・伝統工芸等の地場産業で活躍する先駆者によるピッチ（3～5名程度）
※先駆者の候補については別添の資料を参照
 - ・ピッチ後、参加者と先駆者が車座になり、先駆者の話を聞く場の提供
(2名程度の先駆者の話を聞く。各車座グループにはファシリテーターを配置することを検討)
 - ・参加者同士の交流会

5. 検討事項

- 「協議会イベント（仮称）」の目的・実施内容・役割分担等の議論
- 地場産業に必要となる担い手とは
- 担い手を育成していくために必要な支援体制

- ①ふくしまキャリア探求ゼミ
- ②ふくしまロールモデル研究会
- ③ふくしまロールモデル探求ゼミ
- ④ふくしまロールモデル探索ゼミ
- ⑤NewTOHOKUロールモデル交流会in福島
- ⑥その他

別紙参照ください。

会議終了後、回収させていただきます。

会場：
①福島市
②郡山市

主な集客対象：

集客方法：